



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月12日

上場会社名 株式会社イントランス 上場取引所 東
 コード番号 3237 URL https://www.intrance.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 何同璽
 問合せ先責任者(役職名) 管理部 部長 (氏名) 北川 雅章 (TEL) 03-6803-8100
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	639	△31.8	△220	—	△265	—	△266	—
2024年3月期第3四半期	937	94.1	△87	—	△91	—	△54	—

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 △270百万円(—%) 2024年3月期第3四半期 △58百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	△5.79	—
2024年3月期第3四半期	△1.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	1,130	899	76.8
2024年3月期	1,158	860	70.8

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 868百万円 2024年3月期 820百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,593	100.7	53	—	40	—	16	—	0.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期3Q	46,507,784株	2024年3月期	41,746,384株
2025年3月期3Q	60,400株	2024年3月期	60,400株
2025年3月期3Q	46,025,207株	2024年3月期3Q	37,070,600株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、「添付資料」3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算の経営成績等の概況	2
(1) 経営成績の概況	2
(2) 財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算の経営成績等の概況

(1) 経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(2024年4月1日~2024年12月31日)におけるわが国経済は、深刻化する人手不足を背景に賃金の伸びが拡大するなど雇用・所得環境が改善する一方、世界的な資源価格や原材料価格の高騰等の影響による物価高、地政学的リスクの高まりなどにより、依然として経済への先行き不透明感が続いております。

こうした中、当社グループが属する不動産業界では、ローン金利は低水準を維持しているものの、建設用地は高止まりの傾向にあり、資材価格・人件費の高騰など建築コストの上昇による不動産価格の値上がりにより、不動産購入意欲の低下が懸念されます。

また、当社が注力するホテル運営業界では、訪日観光客を中心として、観光需要の回復は鮮明となっており、レジャー目的を中心とした宿泊施設の需要回復は、今後も期待できるものと考えております。

このような状況の下、当社グループでは、創業以来の不動産事業に加え、新たな事業領域でありますホテル運営事業の取り組みを加速させ、事業領域の拡大と企業価値の向上を目指してまいりました。

当社グループの目指す事業モデルは、不動産事業を安定収益とし、ホテル運営事業において高い成長を目指すというものであり、「都市型アパートメントホテル開発」と「地方創生ホテル投資」の推進によるホテル運営収益の拡大を基本戦略としています。

また、上記の推進においては収益化に一定の時間を要することから、より短期間で収益の確保が期待できるインバウンド向け宿泊施設の開発・売却への取り組みを併せて行っており、これら活動へ注力してまいりました。

その他、「その他事業」として、連結子会社である瀛創(上海)商務咨询有限公司において、グループ内ホテルへの国内インバウンド送客を推進し、併せて、連結子会社であるジャパンホテルインベストメント株式会社を中心として、ホテル施設への投資のためのファンド組成・運営を目指して資金調達の活動へ注力してまいりました。

なお、ハーブガーデン運営事業につきましては、前連結会計年度において、当社グループの連結範囲から除外しております。

この結果、売上高639,598千円(前年同期比31.8%減)、営業損失は220,496千円(前年同期は営業損失87,086千円)、経常損失は265,477千円(前年同期は経常損失91,026千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は266,688千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失54,406千円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(不動産事業)

不動産事業につきましては、当第3四半期連結累計期間において、主にプロパティマネジメント事業、ホテル不動産・インバウンド向け宿泊施設の開発案件の発掘に注力しましたが、販売用不動産の売却がなかったこと、また、前第3四半期四半期連結累計期間では長期未収入金に対して計上していた貸倒引当金の戻し入れを行ったことで販売管理費が大きく減少しましたが、当第3四半期連結累計期間においてはそうした特殊要因が剥落したこと等により、売上高は185,609千円(前年同期比62.5%減)、セグメント利益(営業利益)は41,517千円(前年同期比81.3%減)となりました。

(ホテル運営事業)

ホテル運営事業につきましては、当第3四半期連結累計期間において、グローバルホテルブランドのホテルの運営に注力し、売上高は453,988千円(前年同期比34.1%増)、セグメント損失(営業損失)は35,957千円(前年同期は営業損失61,493千円)となりました。

(その他)

その他事業につきましては、当第3四半期連結累計期間において、中華圏からの国内インバウンド送客を担う連結子会社の瀛創(上海)商務咨询有限公司における国内インバウンド送客事業を推進しましたが、現時点ではグループ内ホテルへの送客に留まるため、収益は限定的となりました。

併せてジャパンホテルインベストメント株式会社を中心としたホテル投資事業へのファンド組成等を目的とした投資家確保に向けた取り組みを進めてまいりましたが、当該事業において、前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間とも売上はなく、セグメント損失(営業損失)19,413千円(前年同期は営業損失25,903千円)となりました。

(2) 財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、流動資産は前連結会計年度末に比べ256,814千円減少し782,884千円となりました。これは主として、現金及び預金が281,649千円減少したこと等によるものです。固定資産は前連結会計年度末と比べ232,275千円増加し339,174千円となりました。これは主として、長期預け金が222,887千円増加したこと等によるものです。繰延資産は、開業費が2,631千円減少し、8,770千円となりました。この結果、資産合計は前連結会計年度末と比べ27,171千円減少し、1,130,830千円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債につきましては、流動負債は前連結会計年度末と比べ59,341千円減少し227,905千円となりました。これは主として、株主優待引当金59,320千円が減少したこと等によるものです。固定負債は前連結会計年度末に比べ7,280千円減少し3,020千円となりました。これは主として長期借入金が6,590千円減少したこと等によるものです。この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ66,621千円減少し、230,925千円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ39,450千円増加し、899,904千円となりました。これは主として、新株予約権の権利行使に伴う新株の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ159,122千円増加し、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が266,688千円減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年5月13日付「2024年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2025年3月期の連結業績は、売上高2,593百万円（前期比100.7%増）、営業利益53百万円（前年同期は154百万円の営業損失）、経常利益40百万円（前年同期は162百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する当期純利益16百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失139百万円）を見込んでおります。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	890,040	608,391
売掛金及び契約資産	81,447	96,149
販売用不動産	43,837	41,622
その他の棚卸資産	2,285	1,415
その他	22,442	35,545
貸倒引当金	△354	△240
流動資産合計	1,039,699	782,884
固定資産		
有形固定資産	6,233	5,596
無形固定資産	10,837	9,122
投資その他の資産		
長期預け金	-	222,887
その他	159,828	171,569
貸倒引当金	△70,000	△70,000
投資その他の資産合計	89,828	324,456
固定資産合計	106,899	339,174
繰延資産	11,401	8,770
資産合計	1,158,001	1,130,830
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,577	4,090
1年内返済予定の長期借入金	32,120	16,120
賞与引当金	6,881	3,587
株主優待引当金	59,320	-
その他	185,347	204,107
流動負債合計	287,246	227,905
固定負債		
長期借入金	9,140	2,550
その他	1,160	470
固定負債合計	10,300	3,020
負債合計	297,547	230,925
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,283,205	1,442,327
資本剰余金	1,053,204	1,212,326
利益剰余金	△1,506,519	△1,773,208
自己株式	△2,476	△2,476
株主資本合計	827,413	878,969
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△7,116	△10,434
その他の包括利益累計額合計	△7,116	△10,434
新株予約権	40,157	31,369
純資産合計	860,453	899,904
負債純資産合計	1,158,001	1,130,830

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	937,551	639,598
売上原価	356,717	132,871
売上総利益	580,833	506,726
販売費及び一般管理費	667,920	727,223
営業損失(△)	△87,086	△220,496
営業外収益		
受取利息及び配当金	4	78
受取遅延損害金	2,000	—
為替差益	4,029	1,335
持分法による投資利益	—	1,737
その他	940	1,007
営業外収益合計	6,973	4,158
営業外費用		
支払利息	5,941	403
社債発行費	2,813	—
株式交付費	—	1,974
開業費償却	1,754	2,631
支払手数料	—	1,500
デリバティブ評価損	—	42,630
その他	404	—
営業外費用合計	10,913	49,139
経常損失(△)	△91,026	△265,477
特別利益		
関係会社株式売却益	37,700	—
特別利益合計	37,700	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△53,325	△265,477
法人税等	1,080	1,210
四半期純損失(△)	△54,406	△266,688
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△54,406	△266,688

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純損失(△)	△54,406	△266,688
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△4,409	△3,317
その他の包括利益合計	△4,409	△3,317
四半期包括利益	△58,816	△270,005
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△58,816	△270,005
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	計 (注) 3
	不動産事業	ホテル運営 事業	ハーブガーデン 運営事業(注) 4	計			
売上高							
顧客との契約から生じる収益	467,797	338,636	103,533	909,967	—	—	909,967
その他の収益	27,584	—	—	27,584	—	—	27,584
外部顧客への売上高	495,381	338,636	103,533	937,551	—	—	937,551
セグメント利益又は損失(△)	221,813	△61,493	△4,175	156,144	△25,903	△217,327	△87,086

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に上海における国内インバウンド送客事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、報告セグメントに帰属しない本社の費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

4. 「ハーブガーデン運営事業」セグメントに分類しておりました株式会社大多喜ハーブガーデン及びハーブ生産出荷組合株式会社については、第2四半期連結会計期間において株式会社大多喜ハーブガーデンの全株式を譲渡したため、連結の範囲から除外しております。同社の売上高、セグメント損失の金額については、連結除外日までの実績を含んでおります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	計 (注) 3
	不動産事業	ホテル運営 事業	ハーブガーデン 運営事業(注) 4	計			
売上高							
顧客との契約から生じる収益	181,833	453,988	—	635,822	—	—	635,822
その他の収益	3,775	—	—	3,775	—	—	3,775
外部顧客への売上高	185,609	453,988	—	639,598	—	—	639,598
セグメント利益又は損失(△)	41,517	△35,957	—	5,560	△19,413	△206,643	△220,496

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に上海における国内インバウンド送客事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、報告セグメントに帰属しない本社の費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

4. 「ハーブガーデン運営事業」については、前連結会計年度をもって、当社グループの連結範囲から除外しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

当第3四半期連結累計期間において、第7回及び第8回新株予約権の権利行使に伴う新株の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ159,122千円増加しております。この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が1,442,327千円、資本剰余金が1,212,326千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	9,462千円	2,352千円